

平成24年行政事業レビューシート

(農林水産省)

事業名	「ASEAN-SEAFDEC 2020年に向けた食料安全保障のための持続的漁業会議」参加費			担当部局庁	水産庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度			担当課室	資源管理部国際課		国際課長 漆原勝彦	
会計区分	一般会計			施策名	⑮水産資源の回復			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—			関係する計画、通知等	水産基本計画(平成19年3月20日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国は、SEAFDEC(東南アジア漁業開発センター)に対し、東南アジア地域における水産資源の持続的利用を推進するため、その活動支援等を通じ主導してきている。本会議は、今後10年間の東南アジア地域の持続的漁業のための決議及び行動計画を採択する重要な会議であり、この機会に我が国の水産政策に係る基本的立場及び水産資源の持続的利用に関する関係国の理解を促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	2011年6月にASEANとSEAFDECが共催する閣僚級会議(バンコク)における展示会において、ASEAN各国からの会議出席者や一般参加者を対象に我が国の水産業に係る取組を分かりやすく紹介する展示パネル・配布物を制作し、現地会場において展示を行う。(展示会に参加するための、1回限りの委託事業)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—			
		計	—	—	4			
		執行額	—	—	4			
	執行率(%)	—	—	100				
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度
国際機関による資源管理対象魚種及び漁業協定数の維持増大:①		成果実績①	協定魚種	81 51	87 52	87 52	対前年贈又は同数(各年)	
本事業においては、ASEAN加盟国が関係する協定及び魚種数の維持増大を成果目標とする(目標値:平成22年度7協定・31魚種)。下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値:②		達成度	%	—	107.4 102.0	100 100		
		成果実績②	協定魚種	—	7 31	7 31 (7) (31)	対前年贈又は同数(各年)	
		達成度	%	—	—	100 100		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	我が国展示ブースへの来場者数。		活動実績 (当初見込み)	人	—	— ()	149 (120)	— ()
単位当たりコスト	(4百万円/展示会への参加)			算出根拠	展示会への参加1回を1単位とした。			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		水産資源の持続的利用に関する関係国の理解促進は、我が国漁船の持続的な操業の確保及び食料安全保障の確立に資するもので、広く国民のニーズがあり優先度が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	－	利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		本事業は、展示会に参加するための1回限りの委託事業である。作成された展示パネルや配布物は展示会で有効に活用され、閣僚級会議においては、我が国の主張を踏まえた決議・行動計画が採択された。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名		
点検結果	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
	<p>(1) 本事業は、展示会に参加するための1回限りの委託事業である。水産資源の持続的利用に関する関係国の理解促進は、我が国漁船の持続的な操業の確保及び食料安全保障の確立に資するもので、広く国民のニーズがあり優先度が高い。</p> <p>(2) 作成された展示パネルや配布物は展示会で有効に活用され、閣僚級会議においては、我が国の主張を踏まえた決議・行動計画が採択された。</p> <p>(3) 「平成23年における「国丸ごと仕分け」(行政事業レビュー)」について(平成23年3月2日行政刷新会議決定)の5(3)に掲げる事項のチェック結果は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の事業仕分けの結果や横断的な見直し基準等を踏まえたものとなっている。 執行面において明らかになった課題はない。 事業の成果目標は立てられている。 			
予算監視・効率化チームの所見				
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	新0060	

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

農林水産省
4百万円



【総合評価(委託)】(1/4)

マリノフォーラム21
4百万円

- ①展示資料を作成する
- ②現地で会場運営を行う

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	社団法人 マリノフォーラム21			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	パネル等作成、展示会場設営・運営に関する業務に従事した職員の人件費	3.0			
	パネル等作成費	パネル作成、配布物作成、会場装飾品作成、来場者用粗品	0.3			
	調査費	旅費、調査諸費	0.6			
	管理費	消耗品等諸費、事務所借料、光熱通信費	0.1			
	計		4	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人 マリノフォーラム21	展示パネル・配布物の制作及び現地会場における展示	4	4	100
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					